

【第1号議案】

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

社団法人日本エスコフィエ協会

事業名	事業内容
出版	・『エスコフィエの技 現代の術』の販売を通じて若手料理人の育成を目指している。同時にエスコフィエの料理技術の保存及び技術向上も目的に。年間533冊販売（うち会員ほか一般に110冊、調理師学校に423冊販売）
会報	・エスコフィエ通信の定期発行（年4回 4、7、10、1月）を通して会員及び一般に広くフランス料理に関する情報と協会の活動内容を伝えている。5月に協会創立40周年記念号を特別に発行。 ・震災被災地支援活動にも積極的に取り上げた。
広報	・ホームページにフランス料理に関する情報及び協会活動を紹介している。 ・会員の各地域での活動の紹介にも務めた。当年度は特に被災地支援活動について内外の活動を速報性を心がけ掲載した。
講習会・講演会	・6月6日の総会当日、フランス料理の技術・文化・歴史に関する講演会と最新技術の発表会を兼ねた食事会を開く予定であったが、東日本大震災の影響を考慮して開催を見送った。
料理フランス語通信教育	・『料理フランス語通信講座』（日仏料理協会との共催）の実施。春・秋・冬期の年3回開講。 ・ホテルの社員教育制度の媒体などを利用し告知。
国際交流	・フランスのディシプル・エスコフィエ（エスコフィエ世界連盟本部）エスコフィエ財団及びスイス、中国をはじめとする外国のエスコフィエ協会との交流。平成23年7月にフランスのパリ・イルドフランス地方の会員より被災地支援のためにと5,000ユーロの寄付を受ける。 ・年会費代わりに毎年ディシプル・エスコフィエとエスコフィエ財団に寄付を贈っていたが、東日本大震災により本年度は免除された。 ・アヴィニオンで3月11・12日に行われた世界連盟総会に、フランス駐在の並木勝人氏が会長代理で出席。
フランス料理勉強会	・ル・ギード・キュリネールを柱にしたフランス基本料理の検証。 本年度は10月26日27日にメゾン・オノにて第2回エスコフィエ・フランス料理コンクールの決勝課題「プーラルド・アレクサンドラ」について検証。4名の実行委員を中心に、担当役員、及び近隣のホテルから申込みのあった若い料理人が参加して行われた。 結果は会報とホームページに掲載。
フランス料理コンクール	・フランス料理の基本技術の継承と若手料理人の育成を目的とする「第6回エスコフィエ・フランス料理コンクール」の開催準備。 ・コンクールの日程

フランス料理コンクール	平成24年1月1日 課題、日程の発表、募集開始 // 6月25日 ルセット提出締切 // 7月4日 予選、書類審査 // 7月25日 準決勝東日本会場 // 7月27日 準決勝西日本会場 // 8月28日 決勝表彰式 ・協賛企業各社に協賛金（寄付）を募る活動を行った。 ・文部科学省フランス農水省およびsopexaの後援を受ける。
震災被災地支援	・被災地に支援物資を届けた。 6月10日に宮城県南三陸町に野菜ジュース12,000本、6月18日に山元町に8400本を届ける。 ・11月3日被災地南三陸町の志津川小学校児童にマドレーヌ500人分を届ける。 ・その他各地会員が個別に支援活動。
『母と子のキャンプ』調理指導	・地方の寡婦連合会や独立行政法人との連携によるキャンプ料理指導。 1. 平成23年7月2日「国立夜須高原青年自然の家」参加者100名 阪本地区委員を中心に6名の役員会員が協力 2. 平成23年9月3日「国立日高青少年自然の家」参加者30名 大江理事を中心に5名の役員会員が協力 3. 平成23年10月15日「国立淡路青少年交流の家」参加者53名 藤田理事を中心に4名の役員会員が協力
社会福祉食事会	・身体の不自由な方と介助の方を対象とした食事会。 1. 7月5日 大津プリンスホテル(佐野文彦シェフ)で第23回を開催。参加者会員を含め60名。 2. 11月18日 伊勢基本社水戸プラザホテル(檜山高良シェフ)で第24回を開催。参加者は会員を含め64名。
親睦事業	・新規入会者の受付と会員証（ディプロム、エンブレム）などの送付。 今年度入会者60名。 ・団体賛助会員である調理師学校の成績優秀生徒1名に「エスコフィエ協 優秀奨励賞」のディプロムを授与。27校の生徒に授与。 ・ディシプル資格昇格者147名にディプロムとエシャルプを送付。 (震災の影響により本年は授与式を行わず)